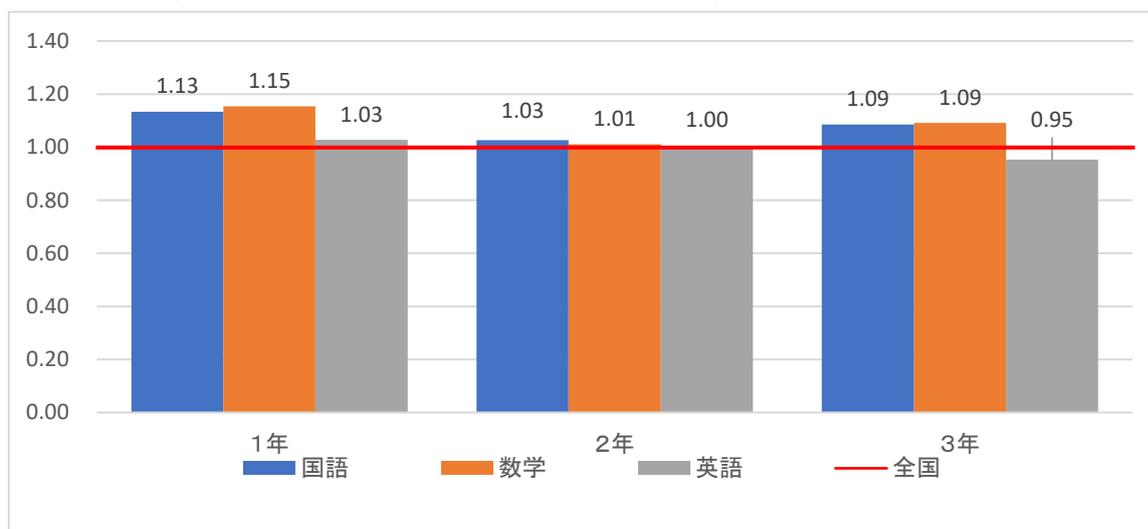


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について

友呂岐中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査

中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	全体的に全国平均を上回っている。今後も、ディベート教育を活用して、「話すこと・聞くこと」領域についての指導をさらに進めていく。
	数学	数学的な表現や活用力に課題がみられる。基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに、応用問題などの取組を重点化し、数学的思考力を培っていく。
	英語	「書くこと」「主体的に学習に取り組む」領域において、全国平均を上回った。今後は、コミュニケーション力の向上だけでなく、「聞くこと」「読むこと」領域における指導も充実させていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「思考力・判断力・表現力」をみる設問において、全国平均を上回っている。今後も、ディベート教育と国語科学習の両輪で指導の充実を図っていく。
	数学	「図形」領域における知識理解をみる設問において、全国平均を上回っているが、正答率が低く課題が見られる。今後は、図形の活用能力を育む学習活動を重点化していく。
	質問紙	「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。今後も、ディベート教育を含む話し合い活動を通じて、より活動を深めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

校区学力向上部会にて結果分析を行い、成果と課題を明確化して共有・授業改善に取り組む。また、校区で協働して系統的にディベート教育、キャリア教育の充実に向けて取り組んでいく。

【学校】

数学的な表現力を身に付けるためにICTを用いて表現することを探求する。また、グループ活動を活用した授業を展開して、協働的な学びの充実を図っていくことで、集団の中における自発的な学習態度を育てていく。